

令和7年度 教育研修企画(看護職対象)アンケート －本会の新しい取り組み「スキマ時間学習」アンケート結果－

令和7年度より新たな取組として開始した「スキマ時間学習」は、忙しい看護職が短時間で学べるコンテンツを提供することで、学習機会の拡充と会員サービスの向上を目指しています。

今回、本取組に関するアンケートに多くの皆さまにご協力いただき、ありがとうございました。以下に、アンケート結果の概要をご報告いたします。

1. アンケート目的

令和7年度より開始した「スキマ時間学習」企画について、看護職の生涯学習支援のおよび会員獲得の観点から、その効果や活用状況を広く看護職に向けて評価する。

2. 方法

対象：兵庫県内の看護職（会員・非会員を含む）

調査期間：令和7年11月1日～令和8年1月25日

調査方法：SMASHで作成したアンケートフォームを使用

調査内容：スキマ時間学習の利用経験、スキマ時間学習の認知度と活用状況、利用目的と満足度、学習内容の希望、生涯学習への意識と課題

3. 主な結果

回答数：798件

スキマ時間学習の聴講目的は、「スキルアップ」（19.6%）、「学びなおし」（18.2%）「新しい企画に興味があった」（11.2%）と回答しており、聴講するために本会に入会した者が12名であった。

スキマ時間学習について「知っていて受講している」と回答した者は14.5%であり、「知らない」と回答した者は66.4%と、周知が不十分であったことが明らかになった。

実際に聴講した看護職からは、コンテンツ内容について「とても良かった」「良かった」と評価した者は44.2%、「とても効果的」「効果的」と回答した者は30.0%でした。このことから、利用すると一定の満足感や有用性が得られていることがうかがえる。

【自由記載から見えた声】

自由記載では、

- ・感染対策や職業倫理・コミュニケーションなど、専門職としての活動の基盤となる領域の研修
- ・急変対応や心電図など、看護臨床実践能力の向上につながる内容
- ・人材育成や看護DX・AI活用など、組織運営に関わるテーマ

などの要望が多く寄せられた。

また、「スキマ時間学習を知らない」といった周知に関する意見や、「会費を支払っているため、価格設定が気になる」といった受講料に関する意見もあった。

4. 今後の課題

- ・今回のアンケート結果から、スキマ時間学習は看護職の学びを支える新たな手段として可能性を有しており、研修企画としてはあがりにくい個人の学習ニーズにも寄り添うような内容を工夫していく。
- ・学習効果については、アンケートを継続し、可視化を図る。
- ・若者に向け、SNSを活用した周知を図る。

本会では、今後も会員の皆さまの声を大切にしながら、より身近で、実践に役立つ研修づくりを進めていきます。令和8年度からスキマ時間学習 ジェネラリスト編・看護管理者編とし、さらに活用しやすいように企画しています。ぜひ、スキマ時間学習を日々の学びにご活用ください。